

神奈川県産業労働局幹部との懇談会を開催

11月18日(火)／ワークピア横浜 労務委員会



県産業労働局幹部と協会との懇談会を11月18日に開催した。協会側は副会長はじめ20名が、産業労働局からは局長はじめ21名が出席した。

開会にあたり阿部副会長兼労務委員長から「県幹部の皆様には貴重な時間を割いていただきありがたい。先般、神奈川県の総合計画“かながわグランドデザイン”の評価報告書を見たところ、産業労働局関係の案件は一部エネルギー関係の遅れを除き、概ね予定通りの進捗ということで承知している。本日は、これら案件を含む取組み施策についてご説明をいただき、質疑、意見交換をさせていただきよい機会である。テーマは、中小企業支援、女性就業、再生可能エネルギー、技術・技能継承など多岐にわたるが、今後の企業活動にも関わる県行政からの有益な情報ということで、個々の課題を深堀するうえでの参考とさせていただきたい」との挨拶があった。

また、蛭名産業労働局長からは「県政の様々な分野でご協力を頂いていることに感謝する。衆院解散という予定外の事態で議会も急ぎよ開かれない状況。経済面では7-9月景気状況がマイナスということで発表があったばかり。県内の中小企業からも、円安による原材料仕入れ価格の乱高下や人手不足等により“非常に苦しい”との声を聞いている。県としては、年末に向けてやるべき施策を粛々と進めるということになるが、本日は、各施策の展開状況・方向性等について説明させていただき、産業界の皆様からのご意見もふまえて、次の展開を考えていく場にいたしたい」との挨拶があった。

この後、県の各課長より(1)（仮称）かながわインダストリアルパーク構想(県内企業の海外進出支援)、(2)中小企業活性化推進条例の見直し、(3)中小企業制度融資の取組、(4)かながわスマートエネルギー計画取組状況、(5)女性の就業支援、(6)非正規就業者等人材育成事業、(7)ものづくり技術・技能の継承の関する取組、についての説明があり、意見交換を行って懇談会を終了した。